

京都市の課題

京都市の主要な幹線道路において、アスファルト舗装のわだち掘れや剥離等の損傷が著しい区間が多数存在している。

対 策

アセットマネジメントにより、コスト縮減を図りつつ、幹線道路の「舗装の損傷度が高い区間」の維持修繕を進めていきます。

成 果 目 標

- ①主要な幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率
ー(H24 当初) → 20%(H25 末)
- ②その他幹線道路における舗装の損傷度が高い区間の舗装修繕率
ー(H24 当初) → 5%(H25 末)

事業が完成すると？

- ・道路走行時の快適性
及び安全性の向上
等の効果が期待されます。

更にこんな効果が

- ・排水性舗装により補修した場合には、騒音が低下し、沿道環境改善の効果が見込まれる。

現 況

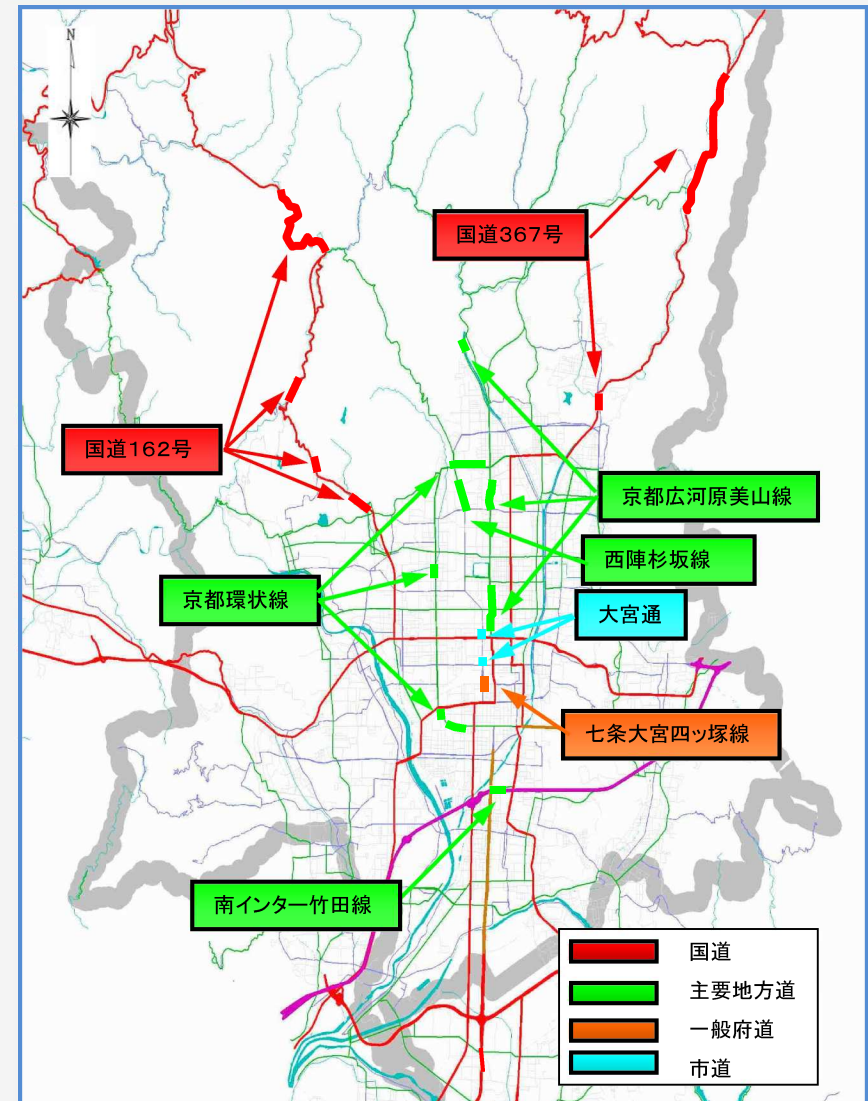
舗装にひびが入っている



舗装がはく離している



主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：安心・安全な道路交通を確保する道路修繕

都道府県名：京都市

チェック欄

Ⅰ. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○